



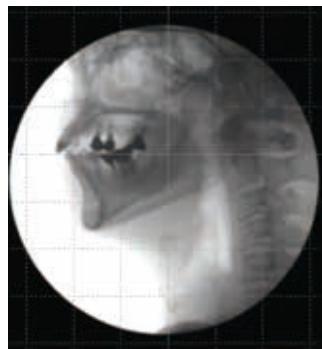
〈和水町立病院で食べる・飲み込む力の検査（VF検査）を実施しています〉

和水町立病院では令和5年9月から主に入院患者様に対して、食べる・飲み込む力を調べる検査（ビデオ嚥下造影検査：以下、VF検査）を実施しています。VF検査の適応は摂食嚥下（食べる・飲むこと）障がいの疑われる患者様に行い、検査することにより摂食嚥下のリスクの評価をし、リハビリが必要な人には、嚥下リハを行います。

検査の目的は大きく2つあり、食べる・飲み込む力が何故（どんな病気で）低下しているのを知るための「診断のための検査」が1つ、次に食べる・飲み込む力を最大限に発揮させる「治療のための検査」の2つがあります。

検査方法は造影剤（バリウムを薄めたもの）を含んだ食物をレントゲン（X線透視）下で食べて、映像（透視像）を機器に録画します。その後、録画した映像を見直し、診断・治療へ反映させていきます。

食事の際に「せき込む、むせる」、「食事の量が減った」、「食べるのに時間がかかる」、「食事の後、がらがら声になる」などや、食事以外でも「徐々に体重が減っている」、「原因不明の発熱が続く」などといった症状は食べる・飲み込みの障がいの可能性があります。気になる人は和水町立病院でVF検査をしてみませんか。



（VF検査の記録画像）



（VF検査実施時のレントゲン室の状況）

和水町地域おこし協力隊の公式Instagramでは、町内にあるお店やスポットを紹介しています。フォローしてみてください。お気に入りの場所が見つかるかも!? →



協力隊
Instagram



「Matango Leather works」

肥後民家村の中にある革製品の製造・販売、オーダーメイドに対応した革の専門店です。

一つ一つ丁寧に手縫いで作られているので、とても丈夫です。性別や年代を問わない温かみのあるデザインも大好評。革のメンテナンスもされています。



Matango
Leather works

学校の話

町内小中学校の様子をお知らせするため、定期的に掲載を行っています。

〈三加和中学校〉

総合的な学習の時間の取組

今年度の「総合的な学習の時間」では、昨年同様、起業体験活動とSST（ソーシャルスキルトレーニング）やGWT（グループワークトレーニング）等に取り組んでいきます。

今回は、SSTの活動を掲載しています。この活動を通して、生徒たちのコミュニケーション能力や自己認知能力を高め、学びの土台を築いていきます。

運動会後の5月から毎週水曜日（年間20回程度）、学年ごとに計画的に活動を行います。今回は認知機能の中の「記憶」（16マスの中にランダムに書かれた数字を10秒間で記憶し、解答用紙の同じ位置に同じ数字を記録する）や「知覚」（3つの図形の重なりでできた図形を、4つのバラバラになった図形の中から探し、必要のないものを選択する）、「注意」（10枚程度の同じようなイラストから全く同じ2枚のイラストを見つける）のトレーニングを行いました。1年生は、初めて経験することが多く、やり方を覚えている段階ですが、2・3年生は昨年も同様のトレーニングを行っていたので、友だちとも相談しつつ、集中して取り組んでいました。今後も継続して取り組むことで、生徒のコミュニケーション能力を高め、他教科や学校生活、社会生活にも必要な力として生かしていきたいと思います。



「1日5分！教室で使えるコグトレ」 宮口幸治 著より

〈菊水中学校〉

菊水中学校体育大会開催！

爽やかな五月晴れの中、5月18日（土）に令和6年度菊水中学校体育大会を実施しました。開会式では、全生徒による息の合った「よさこいソーラン」の踊りの後、紅白に分かれそれぞれの応援団リーダーを中心とした「応援団演舞」を披露しました。2週間ほどの短い練習期間でしたが、みんなが協力して創りあげた応援団演舞は、体育大会のスタートにふさわしい迫力と気合いあふれるものでした。

100m走、200m走や男子の1500m走、女子の800m走など、個人の力を発揮する徒競走はもとより、棒引きや台風の目、長縄跳びなどの団体競技で団の結束力を競いました。また、学年ごとの全員リレーや部活動紹介のリレーなどとともに、最後の団対抗リレーで一番の盛り上がりを見ることができました。保護者や地域の方々には、様々な面でお世話になりましたが、生徒達の頑張る姿で恩返しできたかと思います。この頑張りをこれからの学校生活に生かして、生徒のさらなる成長に繋がるよう取り組んでいきたいと思っています。

